

# 102人参加し大盛況

## 梅田湖でワカサギ釣り大会

両毛漁業協同組合(中島淳志組合長)主催の第3回ワカサギ釣り大会が20日、桐生市梅田町四、五丁目の梅田湖で開かれ、市内外の子どもから大人まで102人が参加して盛り上がった。

同湖を冬場のレジャースポットとして発信し、市の観光振興につなげようと、同漁協が2014年に始めた大会。釣り具メーカーなどの協賛は昨年より

5社増えて42社、参加者も昨年を初めて100人を突破し、「一漁協の主催としては最大規模の釣り大会(大手メーカー・ダイワ関係者)だ。

最高3万5000円相当のボート用モーターや高級ウェアなど景品の豪華さが特徴で、釣果を競うだけでなく、抽選やじゃんけん

だ。

ゲストとして、女性ロックバンド「Lovendora」(ラベンダー)のボーカルで、日刊スポーツ紙上で釣りのコラムを持つ岡田万里奈さん(23)も出場。ふだんはフライフィッシングで「ワカサギは苦手な目標は2匹」と謙遜したが、釣果8匹にご満悦。抽選券を引く役も果たし、



102人で盛り上がったワカサギ釣り大会の参加者(梅田湖で)

大会を盛り上げた。競技は午前7時から正午までの匹数を競う

た結果、165匹を釣った小山響さん(23)が初優勝。2位は福島健児さん(40)が埼玉県秩父市、3位は井上聡さん(56)が高崎市だった。中島組合長(44)は「イベントを通じて多くの釣り人と漁協が触れ合い、楽しく交流すること、梅田湖や桐生地域の川をより良い釣り場にしていきたい」と話す。

桐生タイムス